

実施計画表の見方について

事業名称	①			計画番号
事業開始年度		所管部署		
目的	②			
手段				
成果指標	現状値の推移		目標値	
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和 2 年度	
	③			
総事業費（千円）	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
			④	
事業評価	⑤			
達成状況		今後の方向性	⑥	
今後の方向性 （理由、改善内容等）	⑦			

①事業名称、事業開始年度、所管部署、計画番号

事業名称：「第2次十和田市総合計画」前期基本計画に掲げた施策に対する事業の名称を記載しています。

事業開始年度：事業を開始した年度を記載しています。

所管部署：事業を実施する所管部署を記載しています。

計画番号：事業の計画番号を記載しています。平成 30 年度で終了している事業には、付番されていません。

②目的、手段

事業の目的と概要を記載しています。

③成果指標、現状値の推移、目標値

事業の成果を客観的に検証するため、成果指標、現状値及び目標値を記載しています。成果指標の数値化が困難なもの等については「－」を記載しています。なお、現状値や目標値の実績及び設定年度等が異なる場合は、「（ ）」で表示しています。

④総事業費

年度毎の事業費を記載しています。

事業終了後及び事業を実施しない年度については「－」を表示しています。

平成 29 年度及び平成 30 年度は決算額、令和元年度は予算額を記載しています。

令和 2 年度は、額が未定であることから「*」を表示しています。なお、継続費を設定している場合は、支出額の見込みを記載しています。

⑤事業評価

平成 30 年度における事業評価と、達成状況を記載しています。

⑥今後の方向性

平成 30 年度の事業評価を踏まえた今後の方向性を記載しています。

⑦今後の方向性（理由、改善内容等）

「⑥今後の方向性」についての理由を記載しています。「内容を改善して継続」を選択している事業については、改善内容も記載しています。